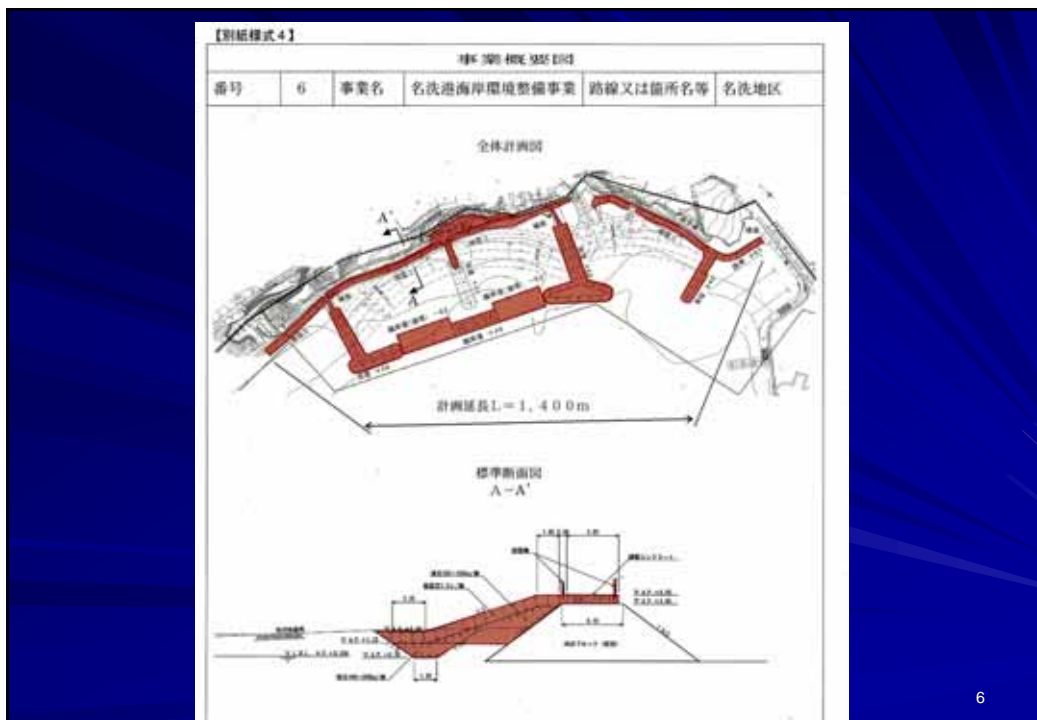
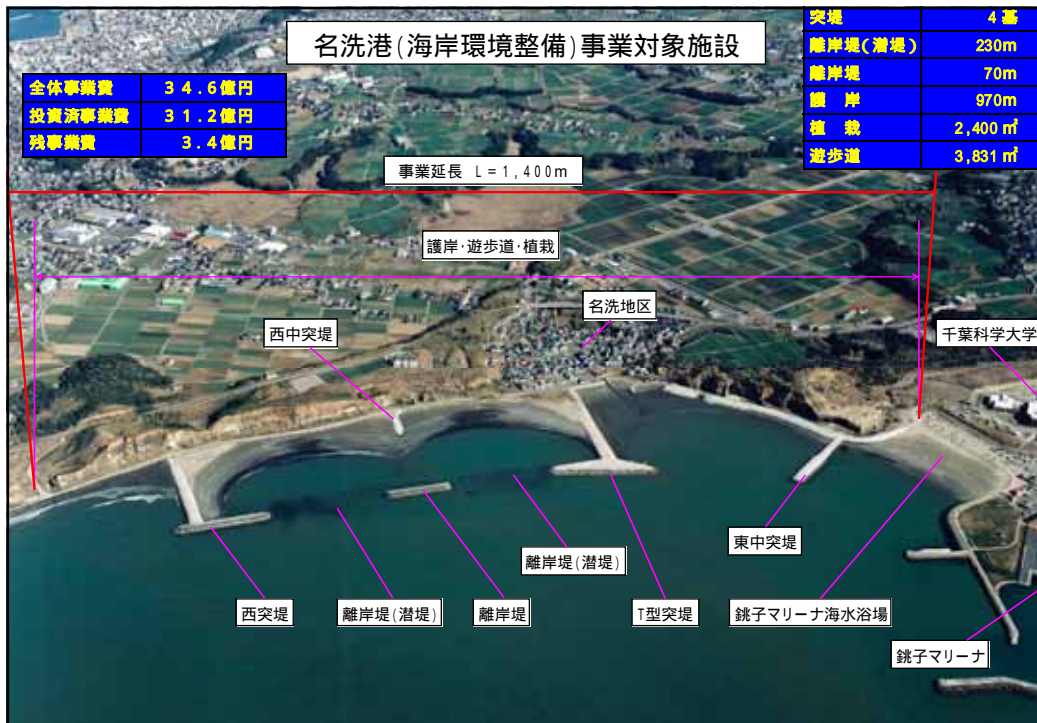




- ・ 箇所名 名洗地区
- ・ 事業所管課 港湾課
- ・ 事業主体 千葉県
- ・ 事業化年度 平成 3 年度
- ・ 工事着手年度 平成 3 年度
- ・ 工事終了年度 平成 2 4 年度
- ・ 再評価の理由 再評価実施後一定期間
5 年が経過している事業

3





海岸環境整備事業における便益の算定

< 対象便益 >

侵食防止便益

侵食地域内の資産を守ることによる便益。

「侵食防止便益」= 侵食による被害額

土地被害額 (侵食により消失する土地面積)

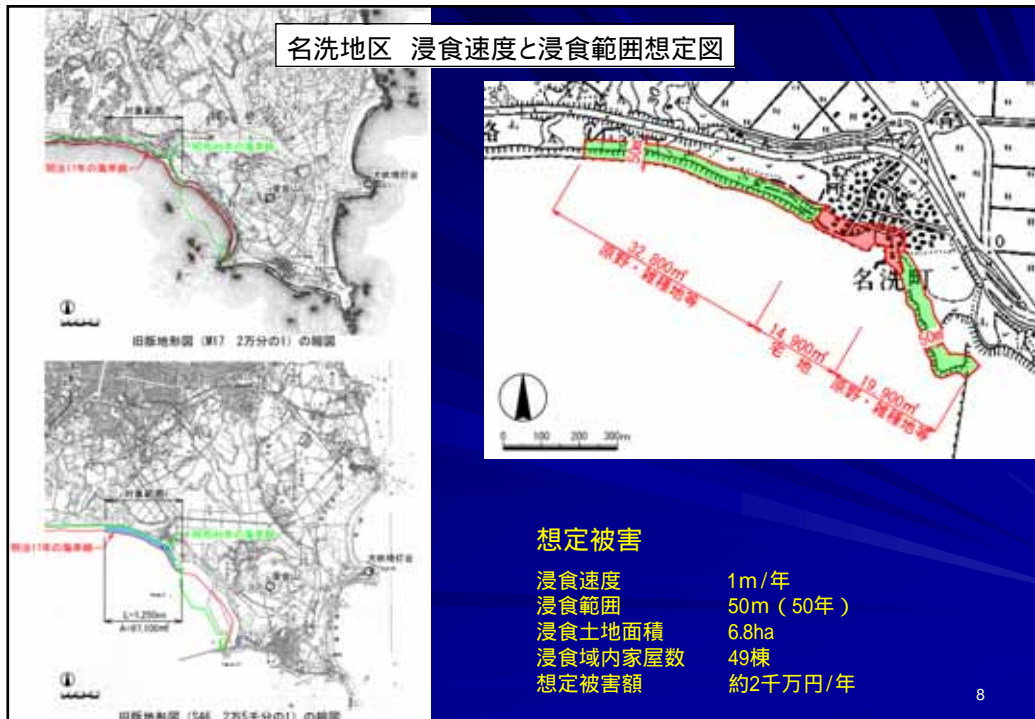
一般資産等被害額 (家屋・家庭用品)

海岸利用便益

レクリエーション等の利用維持・向上効果を発生させる便益。

「海岸利用便益」= 旅行費用法による消費者余剰

7



海岸利用便益(旅行費用法)

- 消費者余剰の算定

7,239円/人・回

- 需要の推計

H19年利用者数 26,246人

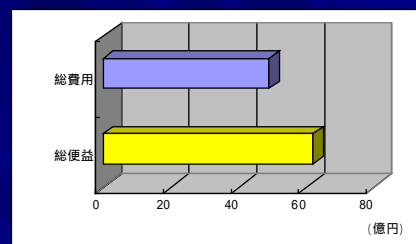
- 利用便益の算定

$7,239\text{円/人}\cdot\text{回} \times 26,246\text{人/年}$
 $= 1.9\text{億円/年}$

9

総費用 (C) 49 億円

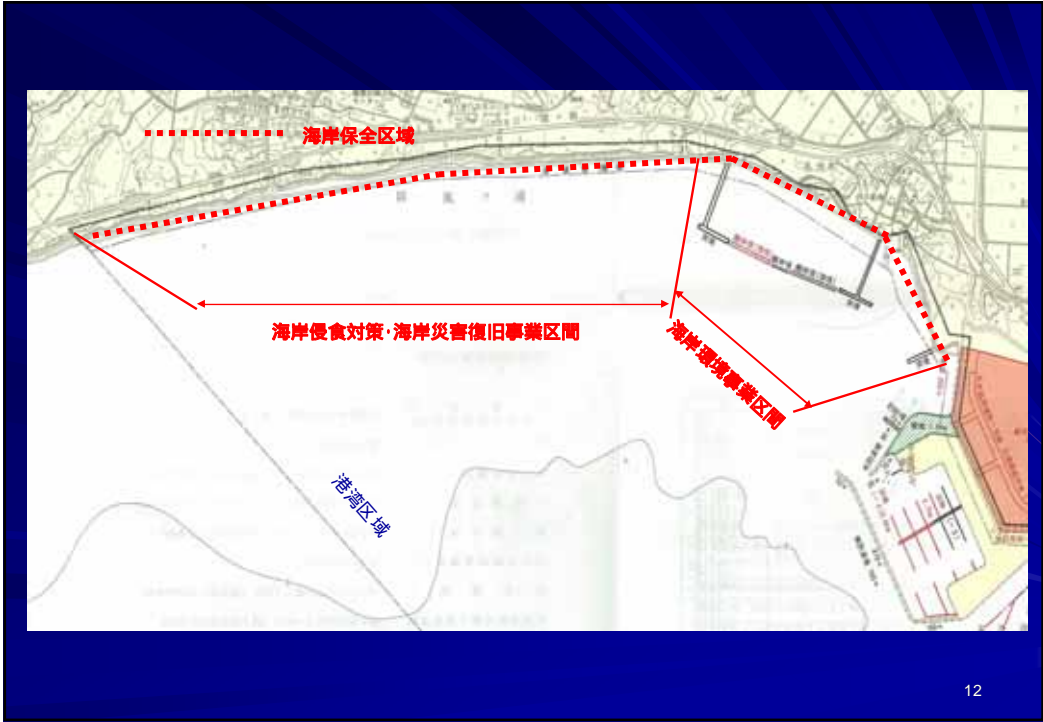
総便益 (B) 62 億円



- 費用便益比 (B/C) 1.3

10

【別紙様式5】 再々評価事業に関する調査書					
番号	6	事業名	名洗港海岸環境整備事業	路線又は箇所名等	名洗地区
事業化年度	平成3年度	用地着手年度	—	工事着手年度	平成3年度
【再評価の概要】					
再評価実施年度 (基準年)	平成14年度 (平成14年度)	供用開始年度	平成11年度	対応方針	継続
B/C	7.8	総費用	47億円	総便益	366億円
再評価時の委員会の意見及び当時の状況 人工ビーチを維持するために、継続的に砂を供給しなくとも済むような工法や施設配置に留意し、整備を継続すること。					
再評価時の進捗状況及び再評価時想定5年後の進捗状況					
	計 画	進捗状況		5年後の想定進捗状況	
全体事業費	40.7億円	27.5億円 (67.6%)		37.0億円 (90.9%)	
用地取得面積	—	—		—	
供用面積 (延長)	1,400m	130m (9.3%)		315m (22.5%)	
【再々評価の概要】					
再評価実施年度 (基準年)	平成19年度	供用開始年度	平成11年度	対応方針	継続
B/C	1.3	総費用	49億円	総便益	62億円
現在の進捗状況					
	計 画	進捗状況			
全体事業費	34.6億円	31.2億円 (90.1%)			
用地取得面積	—	—			
供用面積 (延長)	1,400m	315m (22.5%)			
再評価後の経過及び処理状況	<ul style="list-style-type: none"> 一部着工した西中突堤は、継続的な深淺測量成果から現状でも十分な砂浜の安定が見込めると判断できることから中止するなど事業計画の見直しを行った。 背後地に大学が開校され、若い層の人口が増え、海岸整備への要請が高まっているとともに、供用している海水浴場では様々なイベントも開催されるようになった。 				



社会経済情勢等

近隣に海水浴場が存在しないため、人工ビーチの整備に対する地域のニーズが高く、それに対応した人工ビーチの整備を図る必要がある。

背後地に大学が設立されたため、若い層の人口が増え、海岸整備に対する要請が高まっている。

すでに供用している海水浴場は、ビーチバレーボール大会やジェットスキーの全日本選手権等も開催されるイベント空間となっている。

13

対応方針(案)

侵食の被害から地域住民の生命・財産を防護し、国土の保全が図られること。

事業進捗率が約90%と高く、残事業についても平成24年度までに完了が見込まれること。

供用している海水浴場では、様々なイベントが開催されており、海岸を活用した地域の活性化が図られている。



継続

14